
鎖

無目藻

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】
鎖

【コード】
N9633Z

【作者名】
無目藻

【あらすじ】
貴方の行いは、世界を滅ぼしかねない。

Aが満員電車の中で痴漢をしていた。

その行為はAの日々の疲れを癒すための大切な儀式である。

と、言ってもただ単にいくらやっても相手が抵抗したりしないことに調子づいているだけであるが。

しかし、今回は痴漢をされていた少女も意を決してその痴漢の摘発を行った。

「止めてください！」

彼女は痴漢の手首を握って引つ張り上げた。車内の人々の視線が手首の方に集中する。

ところが、彼女は重大なミスを犯した。

彼女の掴んだ手首は全く関係の無い男性のものだったのだ。

「この人痴漢です」

「何を言っているんだ」

男性は抗議したが、この国では女性が男を痴漢だと思っただらたえそうでも男は痴漢になってしまうのだ。

男性が屈強で正義感あふれる青年に捕らえられ、停車した駅に無理矢理降ろされる。その光景を見ながらAは「哀れ。しかし、私の精神衛生上必要なことなのだ」と心の中で呟いた。

痴漢疑惑をかけられた男性は誠実で家族思いなことで近所でも評判の若旦那だったが、それも痴漢疑惑をかけられる以前の話である。裁判の結果、彼の無罪は証明されたが、社会は冷たく、近所の「正義感にあふれる若者」から嫌がらせを受け続けていた。

「もう駄目だ。俺は耐えられない」

かれは遺書に愛する妻への謝罪の言葉を綴り、睡眠薬を一度に呑み込んだ。

それと同時に、妻が部屋に入ってきた。

「あなた！なにやってるの！」

運が良いのか悪いのか。彼女は看護師だった。

男性は妻から適切な応急処置を受け、救急車に乗せられた。

救急車は自殺未遂者を乗せてサイレンをならしながら道路を走っていた。

そこへ、一人の男が飛び出してくる。

車は急に止まらない。救急車はその男を跳ねてしまった。

「何てこった。救急車が人を跳ねるなんて」

救急隊員が跳ねられた男に近づく。男は肉付きの良い太った男だった。

その男の元へ一人の老人が駆け寄る。

「王子！」

「王子？」

「無礼者。貴様がはね飛ばした御方は我が国の王子ですぞ」

その国は比較的近い場所にある、国交が全く無い仮想敵国とも言える国であった。

「国際問題ですぞ」

「そつちだつていきなり飛び出してきたじゃないか」

「我々がこの国のルールなぞ知るわけがない」

結局、その国は王子の仇と言わんばかり、核ミサイルを放ってきた。

しかし、技術力が中途半端なその国のミサイルは目標を軽く飛び越えアメリカのテキサスに着弾した。

そのあまりにも予想外の事態にはアメリカの優秀な諜報機関もなんの情報もキヤッチできずにいた。

「これは、ロシアからの攻撃だ」

アメリカが核ミサイルの存在をちらつかせる。感情に身を任せてぶっぱなしたりはしなかったが。

それを知ったロシアも

「ヤンキーどもめ。濡れ衣を着せるつもりだな」

と、核ミサイルをちらつかせ始めた。

折角全て処分しそうな流れにあった核兵器は再び配備され、世界は再び冷たい戦争へ突入して行く。

Aはテレビでアメリカとロシアが緊迫した状態にあることを知った。

「なるほど。世界は大変だなあ。しかし、我が精神も大変なのだ」

Aはずっと痴漢を我慢していたが、それも限界を迎えていた。

彼はテレビの電源を切り、家を後にした。

仕事へ行く途中に新しい痴漢のターゲットも探すつもりである。

おしまい

(後書き)

かなりオーバーだと思いかも知れませんが、風刺物だと考えてください。

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になるうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n9633z/>

鎖

2011年12月30日00時47分発行